

令和4年度学校評価結果

令和5年3月

本年度の 学校重点目標	主体的に粘り強く学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。 学校と地域のかかわりを大切にし、地域から信頼される生徒を育てる。 教職員の多忙化解消に向け、業務内容の精選を行い、健康的な職場整備に努める。		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	自己評価
生活指導 (生徒指導部) (各学年会)	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行 身だしなみ指導の充実 交通安全意識の高揚 健康観察の充実 	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用の制約があり、徹底できなかった。 多くの生徒は落ち着いて学校生活を送っている。 交通安全講話において、事故後の賠償責任等を考えさせることができた。 ICTを活用した健康観察を実施できた。
	いじめの早期発見、適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 生活意識調査 情報モラル指導 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに基づき学年会で対応した。 SNS等の不適切な書き込みはなかった。
学習指導 (教務部) (各学年会) (各学科) (各教科会)	主体的な学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の習熟度に応じた学習指導の充実 基本的授業習慣の確立 探究的な学習への取り組み 課題と予習・復習による家庭学習の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> 各講座ごとに生徒の実状にあわせた学習指導を行うことができた。 学習記録を利用し、計画的な学習指導を行った。 総合的な探究の時間でICTを活用しながら課題に取り組んだ。 将来のことは見据えて、課題に取り組みせたり、検定取得に向けて取り組ませることができた。
進路指導 (進路指導部) (各学年会)	進路意識の高揚と学ぶ意欲の喚起	<ul style="list-style-type: none"> 進路相談の充実 キャリア教育の実践 模試結果等の活用 大学入試新制度の研究 	<ul style="list-style-type: none"> 各担任の面談による指導や進路部からの情報等の活用が増えた。 キャリア教育講演会、大学企業見学会等実施できた。 模試の結果報告を行い、学習指導に役立てた。 各研究会で情報を集め、適切に教員・生徒に伝達した。
その他	国際交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹校との交流の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 受入れや派遣はできなかったが、メールで情報交換し、書道作品等を送付した。
	多忙化の改善	<ul style="list-style-type: none"> 長時間労働の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 会議等のペーパーレス化は実施できたが、在校時間の改善には至っていない。
今後の改善方策について	<p>生活指導については身だしなみは概ね良好であった。教職員全体で生徒の行動を注視し、いじめ等が起こらないようにする必要がある。また、支援が必要な生徒には情報を共有し、教員がチームで連携し対応することが必要である。</p> <p>学習指導については、教科と学年で連携し、問題解決能力や表現力、コミュニケーション力などを高められるように指導していく。あいちラーニング推進事業を活用し、主体的・対話的で深い学びとなる授業改善に努める。</p> <p>進路指導については、キャリア教育講演会などを充実させ、進路意識を高めていく。生徒の学力差の拡大や多様化への対応を検討する。</p> <p>成章祭の限定公開は好評であった。ホームページの更新もできた。更なる学校の魅力発信を増加させる。</p>		